



12月8日・9日 小山怜央さん 将棋フェスティバル・昇級報告【釜石市民ホールTETTO 市長室】

## 故郷への想い 来年以降も飛躍誓う

岩手日報釜石広華会、岩手日報社が主催する将棋フェスティバルが行われ、本市出身でプロ棋士の小山怜央四段や渡辺明九段、本田小百合女流三段がトークショーや子どもたちへの指導対局を行いました。参加した子どもたちや将棋愛好家らは、プロ棋士の軽快なトークに興味津々で聞き入りました。小山四段は、翌日9日に市長室を訪れ「どんな戦型にも対応できるよう準備し、勝率6割を目指したい」と来年の抱負を語りました。



12月20日 かまいしこども園キャロリング【釜石市役所】

## 笑顔を届ける小さいサンタ

かまいしこども園の4～5歳児約30人が、毎年恒例のキャロリングでサンタさんのコスチュームを身にまとい「ジングルベル」「あわてんぼうのサンタクロース」「よろこびのうた」の3曲を披露しました。見ていた人たちも、園児のかわいらしさの姿とハツラツとした歌声に頬を緩ませ、癒しの時間となりました。



ありがとうございます

12月17日 市長室

## 遠野緑峰高校 様 シクラメン50鉢



2015年から継続してシクラメンの花の寄贈をいただいている。いただいたシクラメンは、市役所受付や各地区生活応援センターなどに飾られます。

おめでとうございます

12月25日 市長室

## 県民の交通安全功労者表彰受賞者表彰



西村 淳一郎 さん

西村さんは釜石市交通指導隊副隊長を務められており、20年以上にわたり交通安全思想の推進に尽力されています。

12月25日 市長室

## SMC(株) 様 防災備品5セット



SMC(株)からの寄付は、今回で4回目です。久保工場長（写真中央）からは「来年度以降も防災などに寄与する寄付を継続したい」との地域貢献への抱負が語られました。いただいた防災備品は、市内小学校や各地区生活応援センターで活用されます。

12月25日 市長室

## IATふるさとCM大賞 岩手県知事賞受賞



釜石ラーメンを題材に作成したCMが県内参加26市町村の中から岩手県知事賞に選ばれました。当日は主演した千田トミ子さん（写真中左）も市長室を訪ね喜びあふれる受賞となりました。

12月3日 地域医療連携推進法人準備委員会設立総会【釜石PIT】

## より良い医療体制の提供へ準備を開始

地域の医療機関が連携し、地域医療の質の向上や効率化につなげる「地域医療連携推進法人」設立への取り組みが始まりました。法人化によって医薬品の共同販売や医療機器の共同利用が可能になり、認可されれば県内で初の事例となります。

法人名は「釜石スクラムメディカルネット」に決定し、ラグビーのまち釜石にちなみ、手を取り合い、スクラムを組んで地域医療の充実を図りたいという思いが込められています。



12月5日 情報モラル教室【釜石小学校】

## 授業の講師に「ペッパーくん」 インターネットの安全な使い方を学ぶ

釜石小5・6年生は、安全にインターネットを利用するための「デジタルリテラシー・情報モラルに関する講座」を受講しました。ソフトバンクの人型ロボット「ペッパーくん」が講師となり、子どもたちに質問をしたり指名をしながら授業を進めると、子どもたちは笑顔を見せながら真剣に考え、積極的に意見を発表しました。



12月6日 釜石商工高校課題研究授業【鶴住居川水門付近】

## 自作のボートの成果を実感

釜石商工高校機械科3年の生徒7人が課題研究授業の一環で製作した小型ボートを運航し、学習成果を確認しました。生徒らは、令和6年5月に課題研究のテーマとしてボート製作を企画し、約半年間にわたり準備してきました。生徒の佐藤大雅さんは「みんなで企画したものを形にすることでうれしい。共に取り組んだ仲間や先生方に感謝したい」と笑顔を見せました。



12月7日 第6回公民館対抗ニュースポーツ交流大会【市民体育館】

## 地域の絆で目指す栄冠

市内8公民館対抗の同大会に約200人が集まり、室内グラウンドゴルフ、スカットボール、輪投げ、ボッチャなどのニュースポーツに汗を流しました。これまでシルバー世代のみの参加でしたが、世代間交流の観点から小学生24人も参加し、会場は笑いと熱気に包まれました。

